



# 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エイジス

コード番号 4659 URL <http://www.aiis-group.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 齋藤 昭生

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長

(氏名) 西岡 博之

TEL 043-350-0567

四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	11,345	9.9	1,179	64.1	1,191	61.2	771	81.1
27年3月期第2四半期	10,320	5.1	718	32.1	739	32.7	426	43.8

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 781百万円 (84.2%) 27年3月期第2四半期 424百万円 (27.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	164.12	—
27年3月期第2四半期	89.13	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	13,022	9,573	73.2
27年3月期	12,855	9,006	69.8

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 9,527百万円 27年3月期 8,967百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,460	7.5	2,314	34.9	2,356	33.6	1,500	60.9	328.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.4「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.4「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	5,385,600 株	27年3月期	5,385,600 株
② 期末自己株式数	682,679 株	27年3月期	682,580 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	4,702,952 株	27年3月期2Q	4,781,584 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、添付資料P.12「3.四半期連結財務諸表(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(重要な後発事象)」に記載のとおり、第2四半期末後に公開買付により300,000株の自己株式の取得を行っております。業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の取得の影響を考慮して記載しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策を背景に円安・株高基調が継続し、個人消費や輸出が持ち直すなど緩やかな回復基調となりました。一方で、中国経済の減速をはじめとした海外景気に対する不安感及び雇用環境の変化により人材採用が困難となり、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要顧客であります流通小売業界におきましては、昨年4月より導入された消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動減が一巡するなか、消費者の節約志向や低価格志向の継続、さらに業種・業態を超えた価格競争が増すなど、厳しい経営環境が続いております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①国内棚卸サービス

国内棚卸サービスにおいては、「収益力強化」を中期課題として位置づけ、前期より引き続き取り組んでまいりました。重点施策である棚卸閑散期の業容拡大および生産性の改善については、いずれも着実に成果が表れました。その結果、売上高は8,541百万円（前年同四半期比2.8%増）、セグメント利益は989百万円（前年同四半期比32.2%増）となりました。

#### ②海外棚卸サービス

海外棚卸サービスにおいては、売上増加基調で推移しております。利益面では、前期より継続して取り組んでまいりました、経営幹部の現地化推進等により経営効率を改善し、黒字転換いたしました。その結果、売上高は1,020百万円（前年同四半期比32.1%増）、セグメント利益は47百万円（前年同四半期は93百万円の損失）となりました。

#### ③リテイルサポートサービス

リテイルサポートサービスにおいては、売上増加基調で推移しております。売上高は1,782百万円（前年同四半期比44.0%増）、セグメント利益は139百万円（前年同四半期比129.5%増）となりました。

これらの結果から、当第2四半期連結累計期間における売上高は11,345百万円（前年同四半期比9.9%増）、営業利益は1,179百万円（前年同四半期比64.1%増）、経常利益は1,191百万円（前年同四半期比61.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は771百万円（前年同四半期比81.1%増）となりました。

当社グループの売上高の特徴として、国内棚卸サービスの閑散期である第1四半期連結会計期間および第3四半期連結会計期間の売上高は少なく、国内の主要な顧客であります流通小売業界の決算が集中する第2四半期連結会計期間および第4四半期連結会計期間は繁忙期となり売上高が多くなる傾向があります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は13,022百万円（前連結会計年度比1.3%増）となりました。これは、主として売掛金が減少した一方で、投資その他の資産のその他に含まれる投資有価証券が増加したことによるものです。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は3,448百万円（前連結会計年度比10.4%減）となりました。これは、主として流動負債のその他に含まれる未払消費税等が減少したことによるものです。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は9,573百万円（前連結会計年度比6.3%増）となりました。これは、主として利益剰余金が増加したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、4,198百万円（前年同四半期比485百万円の増加）となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は、739百万円（前年同四半期比74.4%増）であります。その主な内訳は、収入要因として税金等調整前四半期純利益が1,183百万円、売上債権の減少額が187百万円、支出要因として未払消費税等の減少額が407百万円、法人税等の支払額が313百万円であります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において投資活動に使用した資金は、446百万円（前年同四半期比500.5%増）であります。これは、主として投資有価証券の取得および定期預金の預入による支出によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、221百万円（前年同四半期比15.6%減）であります。これは、主として配当金の支払額211百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結および個別の通期業績予想につきましては、通期売上高予想は、当期第3、第4四半期会計期間も計画の範囲内で推移する見込みであります。また、通期営業利益予想においては、第2四半期累計期間の実績は計画を大幅に上回る結果でありましたが、一方で、慢性的な人材不足による売上原価の上昇等、不透明な要素も多く、平成27年8月12日発表の通期業績予想を、以下の通り修正いたしました。

①平成28年3月期通期連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	23,380	2,159	2,190	1,475	313.63
今回発表予想 (B)	23,460	2,314	2,356	1,500	328.62
増減額 (B-A)	80	155	166	25	—
増減率 (%)	0.3	7.2	7.6	1.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成27年3月期)	21,829	1,714	1,763	932	195.68

②(参考) 個別業績予想について

平成28年3月期の通期連結業績予想の修正にともない、通期個別業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）は以下の通りとなります。

	売上高	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	17,700	1,690	1,007	214.12
今回発表予想 (B)	17,700	2,001	1,195	261.80
増減額 (B-A)	0	311	188	—
増減率 (%)	0.0	18.4	18.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成27年3月期)	17,352	1,688	807	169.46

※平成28年3月期通期個別業績予想については、平成27年5月8日発表の、「平成27年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の「(参考) 個別業績の概要」の当該数値が直近公表値となります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び  
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)  
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額  
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更い  
たしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定  
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方  
法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更  
を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、  
四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会  
社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載  
し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売  
却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載してお  
ります。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び  
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点  
から将来にわたって適用しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益及び当第2四半期  
連結会計期間末の資本剰余金への影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,269,420	5,337,900
受取手形及び売掛金	3,097,872	2,912,679
有価証券	100,000	100,000
商品	99,566	—
貯蔵品	46,584	62,689
その他	396,031	337,310
流動資産合計	9,009,474	8,750,579
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,276,394	1,276,394
その他(純額)	811,936	912,886
有形固定資産合計	2,088,331	2,189,281
無形固定資産	452,256	507,004
投資その他の資産		
その他	1,306,832	1,576,807
貸倒引当金	△1,408	△1,098
投資その他の資産合計	1,305,424	1,575,708
固定資産合計	3,846,011	4,271,994
資産合計	12,855,486	13,022,573
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	91,954	85,374
未払金	2,023,061	1,772,649
未払法人税等	334,336	434,043
賞与引当金	354,650	407,816
役員賞与引当金	14,875	9,782
その他	955,938	667,276
流動負債合計	3,774,815	3,376,943
固定負債		
退職給付に係る負債	5,208	726
その他	68,651	71,046
固定負債合計	73,859	71,773
負債合計	3,848,675	3,448,716

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	475,000	475,000
資本剰余金	489,665	489,936
利益剰余金	9,481,754	10,041,963
自己株式	△1,568,325	△1,568,573
株主資本合計	8,878,093	9,438,325
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44,846	53,031
為替換算調整勘定	44,999	36,462
その他の包括利益累計額合計	89,845	89,494
非支配株主持分	38,871	46,037
純資産合計	9,006,810	9,573,857
負債純資産合計	12,855,486	13,022,573



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	10,320,592	11,345,372
売上原価	7,768,119	8,120,894
売上総利益	2,552,472	3,224,477
販売費及び一般管理費	1,833,907	2,045,407
営業利益	718,565	1,179,069
営業外収益		
受取利息	1,844	3,138
受取配当金	5,495	6,588
受取賃貸料	12,702	14,026
物品売却益	—	5,980
その他	9,511	10,726
営業外収益合計	29,554	40,460
営業外費用		
支払利息	938	1,035
賃貸費用	6,883	6,455
自己株式取得費用	—	18,272
その他	853	2,099
営業外費用合計	8,675	27,863
経常利益	739,444	1,191,667
特別利益		
投資有価証券売却益	—	44,356
特別利益合計	—	44,356
特別損失		
固定資産除却損	897	3,108
事業撤退損	—	49,080
特別損失合計	897	52,189
税金等調整前四半期純利益	738,546	1,183,834
法人税等	309,775	401,498
四半期純利益	428,771	782,335
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,604	10,490
親会社株主に帰属する四半期純利益	426,166	771,844

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	428,771	782,335
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,980	8,185
為替換算調整勘定	1,665	△8,554
その他の包括利益合計	△4,314	△369
四半期包括利益	424,456	781,966
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	421,369	771,493
非支配株主に係る四半期包括利益	3,087	10,472

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	738,546	1,183,834
減価償却費	107,238	169,465
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△44,356
固定資産除却損	897	3,108
事業撤退損	-	49,080
賞与引当金の増減額(△は減少)	41,753	53,236
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,490	△5,116
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	921	△4,447
受取利息及び受取配当金	△7,340	△9,727
支払利息	938	1,035
売上債権の増減額(△は増加)	△154,182	187,220
たな卸資産の増減額(△は増加)	△40,892	34,187
未払金の増減額(△は減少)	△65,679	△238,742
未払消費税等の増減額(△は減少)	198,987	△407,775
その他	△28,286	74,453
小計	782,411	1,045,457
利息及び配当金の受取額	9,112	8,772
利息の支払額	△825	△919
法人税等の支払額	△366,580	△313,439
営業活動によるキャッシュ・フロー	424,118	739,869
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△722,692	△807,358
定期預金の払戻による収入	1,302,374	708,421
有価証券の取得による支出	△100,000	-
有価証券の償還による収入	-	100,000
有形固定資産の取得による支出	△179,397	△123,678
有形固定資産の売却による収入	-	12,075
無形固定資産の取得による支出	△81,191	△136,002
投資有価証券の取得による支出	△303,643	△308,651
投資有価証券の売却による収入	-	103,723
差入保証金の差入による支出	△15,175	△17,366
差入保証金の回収による収入	22,190	21,623
その他	3,119	310
投資活動によるキャッシュ・フロー	△74,416	△446,902
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△17,020	△6,512
長期借入金の返済による支出	△30,000	-
自己株式の取得による支出	△33	△248
配当金の支払額	△214,995	△211,312
非支配株主への配当金の支払額	-	△1,140
その他	-	△1,895
財務活動によるキャッシュ・フロー	△262,050	△221,109
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,231	△1,876
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	84,420	69,981
現金及び現金同等物の期首残高	3,629,341	4,128,970
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,713,761	4,198,952

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内棚卸サービス	海外棚卸サービス	リテイルサポートサービス	合計
売上高				
外部顧客への売上高	8,310,066	772,748	1,237,777	10,320,592
セグメント間の内部売上高又は振替高	23,752	—	33,674	57,427
計	8,333,819	772,748	1,271,451	10,378,020
セグメント利益又は損失(△)	748,679	△93,294	60,569	715,955

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	715,955
セグメント間取引消去	2,610
四半期連結損益計算書の営業利益	718,565

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内棚卸サービス	海外棚卸サービス	リテイルサポートサービス	合計
売上高				
外部顧客への売上高	8,541,901	1,020,827	1,782,644	11,345,372
セグメント間の内部売上高又は振替高	29,009	—	24,134	53,144
計	8,570,910	1,020,827	1,806,778	11,398,516
セグメント利益	989,568	47,482	139,027	1,176,077

2 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,176,077
セグメント間取引消去	2,991
四半期連結損益計算書の営業利益	1,179,069

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、平成27年8月20日開催の取締役会において決議いたしました、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項及び当社定款の規定に基づく自己株式取得を以下のとおり実施いたしました。

1. 自己株式の取得を行った理由

資本効率の向上を図るとともに経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するべく、自己株式の取得を行ったものであります。

2. 取得の内容

(1) 取得した株式の種類 普通株式

(2) 取得した株式の総数 300,000株

(注) 発行済株式総数に対する割合 5.57%

(3) 取得価額の総額 894,600,000円

(注) 上記金額には、公開買付代理人に支払う手数料その他諸経費は含まれておりません。

(4) 取得した期間 平成27年8月21日から平成27年9月17日まで

(5) 取得方法 公開買付けの方法による

(6) 取得日 平成27年10月15日

以 上